

TOSHIBA

東芝換気扇取付説明書（ダクト用）

形名
DVF-D18L、DVF-D20L




販売店・工事店さま用

日本国内専用品
Use only in Japan








- この換気扇の注意事項をよく知っていただし、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをご覧ください。）

安全上のご注意

- 商品および取付説明書にはお使いになるかたやほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表 示	表示の意味	表 示	図記号の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※ 1）を負うことが想定される内容”を示します。	 禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※ 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※ 3）の発生が想定される内容”を示します。	 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

- * 1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 - * 2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
 - * 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
また、この取付説明書は取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

 警告		 注意	
 改造禁止	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。	 炎禁止	炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けない 火災の原因になります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。	 確実に取り付け	強度のある場所に確実に取り付け 落下による、けがの原因になります。
 アースを接続する	アースは確実に取り付け 故障や感電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取り付けは販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。	 確実に取り付け	本体カバーや部品は確実に取り付け 落下による、けがの原因になります。
 接触禁止	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属性ダクトが貫通する場合、金属性ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける 漏電した場合、火災の原因になります。	 取付注意	電気工事は必ず電気工事店に依頼する 電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 火災の原因になります。
 取付禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。	 手袋着用	取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
 水かけ禁止	水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない 漏電により、火災・感電の原因になります。	 取付禁止	浴室など湿気の多い場所には取り付けない 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
 給気を確認	煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分に大きな空気取り入れ口を別に付ける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。	 取付禁止	浴室内には操作スイッチを取り付けない 火災・感電の原因になります。
 交流100Vを使う	電源は交流 100V を使う 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。		

取付上のお願

- 次のような場所には取り付けないでください。
 1. 高温（40℃以上）になる場所
 - ①ガスレンジの真上
 - ②ガス湯沸器の真上（横方向へ50cm以上離してください。）
 2. 台所など油煙の多い場所
 3. 腐食性ガスの発生する場所
 4. 浴室など湿気の多い場所
- 点検口を必ず設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。

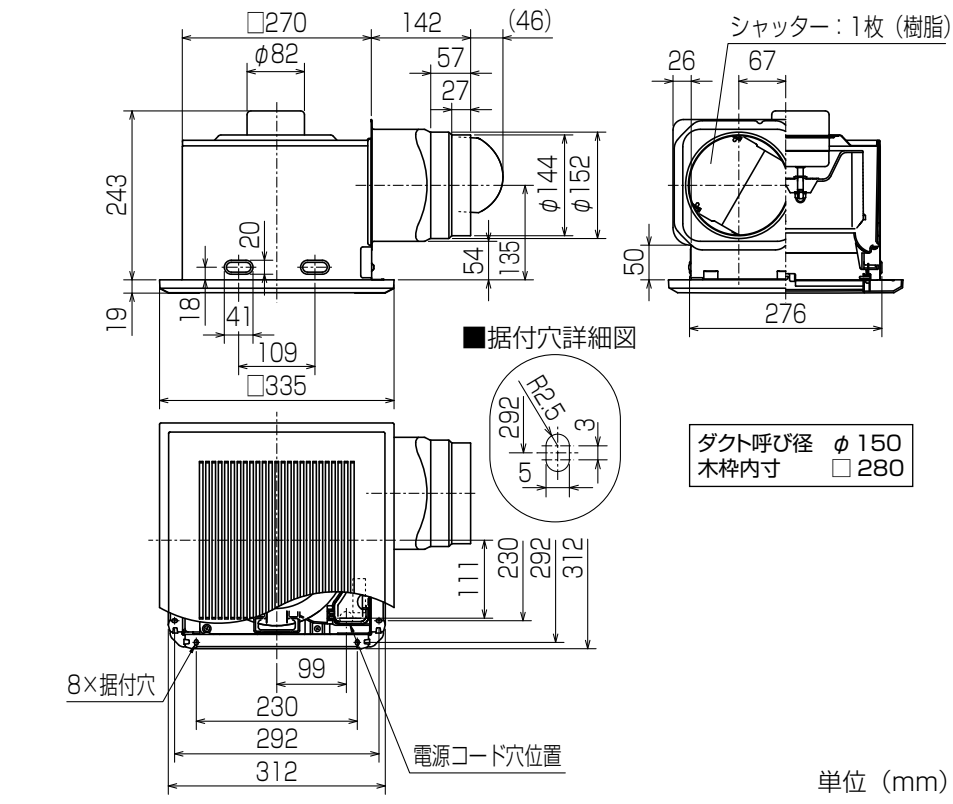
- (1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ (3) 接続ダクト径を極端に小さくする (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ



- ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。
シャッターが開かなくなる原因になります。
- 地域によっては樹脂製換気扇およびジャバラが使えないことがあります。
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）
- 共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取り付けるか、システム部材の防火ダンパーを取り付けてください。
- 効率よく換気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の入入口を部屋の反対位置に設けてください。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。
モータの放熱が悪くなり、断熱材が溶けたり故障の原因になります。
- モータに電源ケーブルが接触しないようにしてください。
モータの熱により、電源ケーブルが劣化するおそれがあります。
- 傾斜のある天井面には取り付けないでください。
シャッター開閉不良、振動、異常音の原因になります。
- 定風量換気機能を有効にするためには、ダクト長さやフードなどの選定を適切に行う必要があります。詳しくは仕様図をご覧ください。

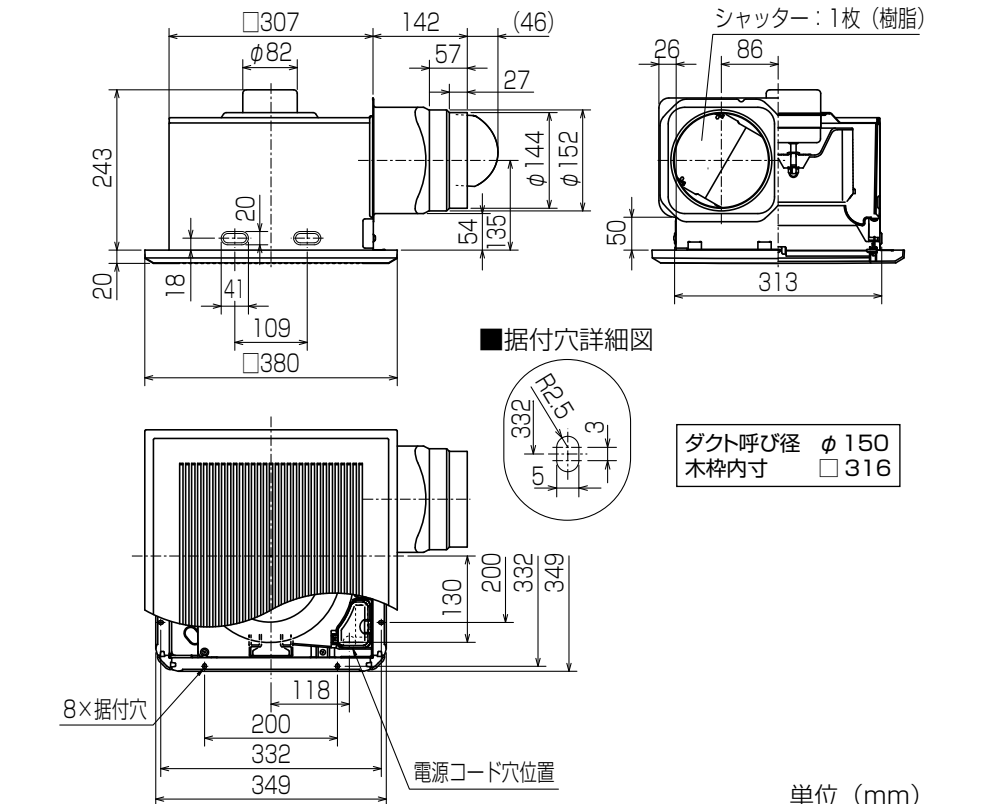
製品寸法

●DVF-D18L



- 付属品の確認をしてください
- 木ねじ 9 本（本体固定用・排気口固定用）

●DVF-D20L



取付方法

- 取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。
- 取付時、板金部品の端面で手を滑らせると手が切れる場合がありますので手袋を着用してください。

配線図 ※太線部を結線する
◆建築基準法対応機械換気設備として設置される場合の操作スイッチは、「換気システム用操作スイッチ」を使用するなど建築基準法に従って施工してください。

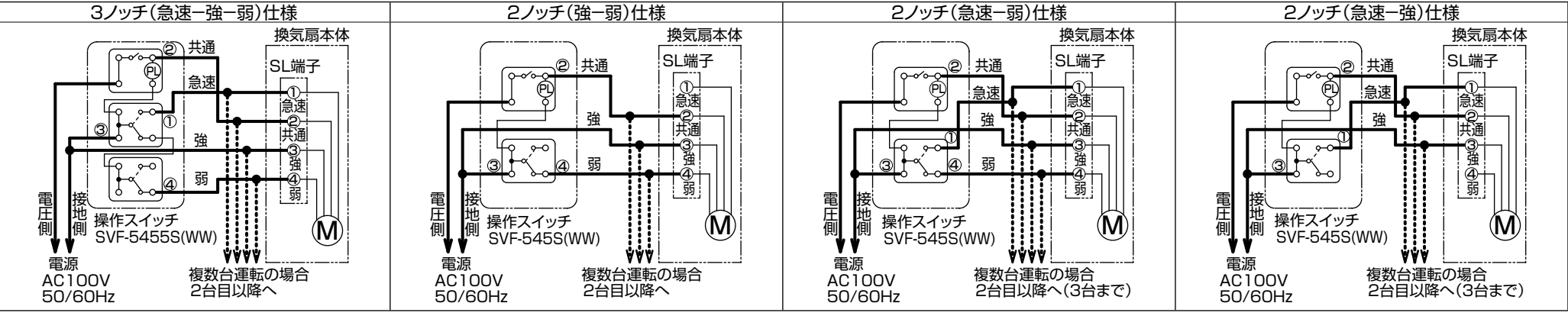
結線図（太線部分を電気工事士にて結線してください） ※施工時は「結線間違い」や「異電圧印加」等の誤結線がないことを十分確認してから運転してください。（誤結線を行いますと、故障の原因になります。）

- ※電子式スイッチを使用すると、スイッチの故障や正常に動作しない場合がありますので使用しないでください。
- 漏電遮断器を取り付けてください。

DC モータタイプ専用操作スイッチ

(SVF-5455S(WW)、SVF-545S(WW)) を使用する場合

※操作スイッチ 1 個で 3 台まで運転できます。換気扇の複数台運転の台数は、操作スイッチの部品構成と運転時の突入電流から決められています。

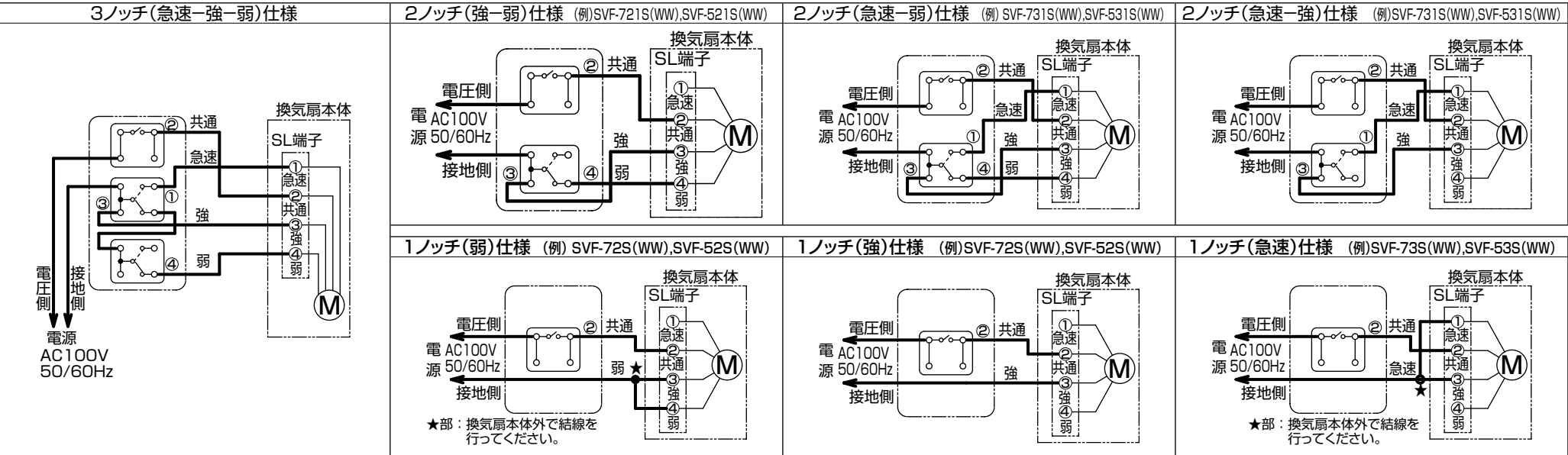


その他の操作スイッチ（2 線式）を使用する場合

表示灯付操作スイッチを運転/停止切換えに使用する場合

- (1) 操作スイッチ 1 個で換気扇が 1 台運転できます。
- (2) 操作スイッチの仕様が、定格 0.5A のものは急速ノッチでは使用できません。4A のスイッチを使用してください。
また運転状態により、スイッチのランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。
- (3) 運転 / 停止切換え以外には、表示灯付操作スイッチを使用しないでください。

※表示灯なし操作スイッチ 1 個で、DVF-D18L、D20L のみの組み合わせの場合、3 台まで運転できます。



A. 木枠に取り付けるとき

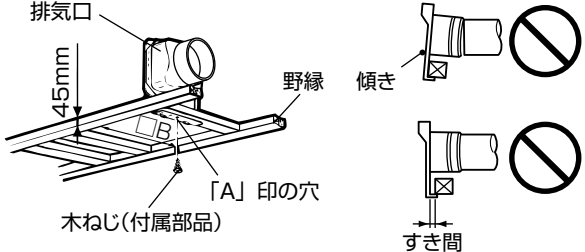
A-1 木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁に固定します。
木枠高さが 45mm 以下となるようにしてください。シャッター開閉不良、異常音の原因になります。

お願い
製品の質量に十分耐えるよう木枠を補強材などで野縁に固定します。

野縁 木枠 補強材	形 名	製品重量 (kg)	木枠内寸 (mm)	木枠高 (mm)
	DVF-D18L	4.4	□ 280	45 以下
	DVF-D20L	4.9	□ 316	45 以下

A-2 排気口を固定します。

排気口を木枠と傾きおよびすき間がないように、内側の穴に付属の木ねじ 1 本で固定します。(「A」印の穴を使用)



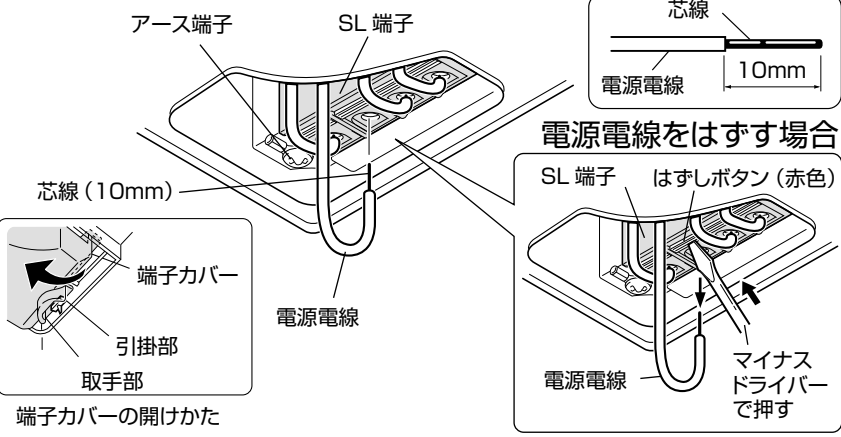
A-3 本体を木枠に固定します。

- ① 本体の穴と排気口の内側のツメおよび、本体の立上り部と排気口の引掛部がはまり込むように本体と排気口を接続する。
- ② 本体が排気口に密着していることを確認してから、付属の木ねじ 8 本で本体をすき間のないようにしっかり固定する。(すき間があると風漏れの原因となります)
- ③ 排気口を仮固定している木ねじ 1 本を締め付ける。

お願い
本体を木枠の上に固定しないでください。

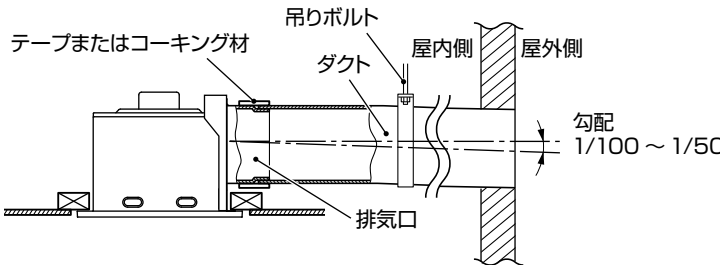
A-4 電源コードとアース線を接続します。

- ① 本体上部のゴムブッシュより電源電線（屋内配線 VVF ケーブル φ1.6 またはφ2）を通す。
 - ② 端子カバーの取手部に指を掛け下に引いて端子カバーを開け、SL 端子に皮むきた芯線を実に奥まで差し込む。(下図参照)
 - ③ 端子カバーを元通り取り付ける。「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛部に確実に固定されていることを確認する。
 - ④ 結線の間違いがないことを確認したあと、電源コードがゆるまないように結束バンドで固定してください。固定後、結束バンドの余った部分はニッパーなどで切断してください。
- 配線図 ↓ 部分の配線接続部はジョイントボックスに納めてください。



お願い
スイッチ（入切）は必ず電圧側に取り付けてください。電源電線の外被は 70mm 以上皮むきしてください。電源電線は接続部に力が加わらないよう本体付近で約 150mm たるませてください。

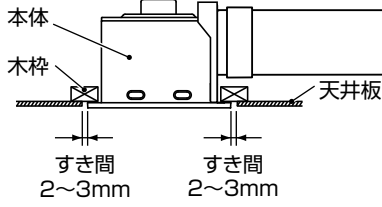
A-5 排気口にダクトをはめ込みテープまたはコーキング材で密封します。



お願い
ダクトは室外側を下げて吊りボルトなどで保持してください。

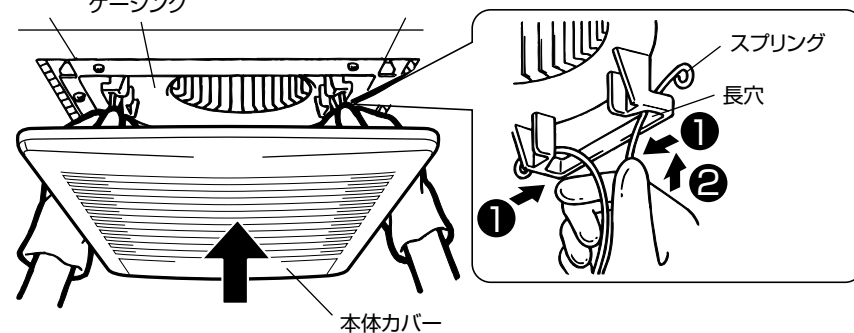
A-6 天井板を貼り付けます。

お願い
● 本製品は本体を天井よりはずせる構造としてありますので、天井板と本体のフランジとのすき間が 2 ～ 3mm になるようにしてください。
● 天井の厚さは 25mm 以下にしてください。本体カバー（ルーバー）の取り付けが困難になります。



A-7 本体カバー（ルーバー）を取り付けます。

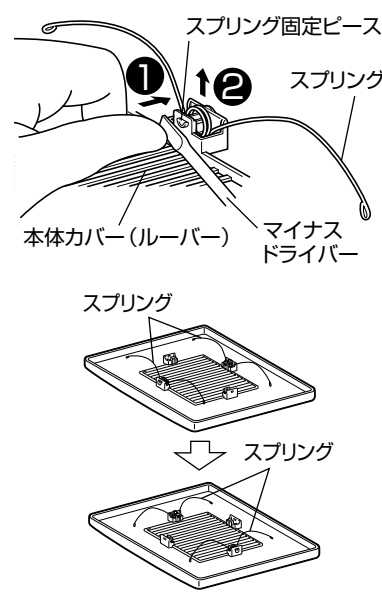
- ① 本体カバー（ルーバー）のスプリングを指でつまんで長穴に差し込んでください。



- ② 本体カバー（ルーバー）をそのままゆっくりと押し上げます。

天井材に合わせて本体カバー（ルーバー）の方向が変更できます。

- ① マイナスドライバーの先端でスプリング固定ピースを矢印 ① の方向に押し、本体カバー（ルーバー）より抜き取りスプリングをはずします。
- ② スプリングの位置を 90° 変更して据え付け、スプリングをスプリング固定ピースで固定します。

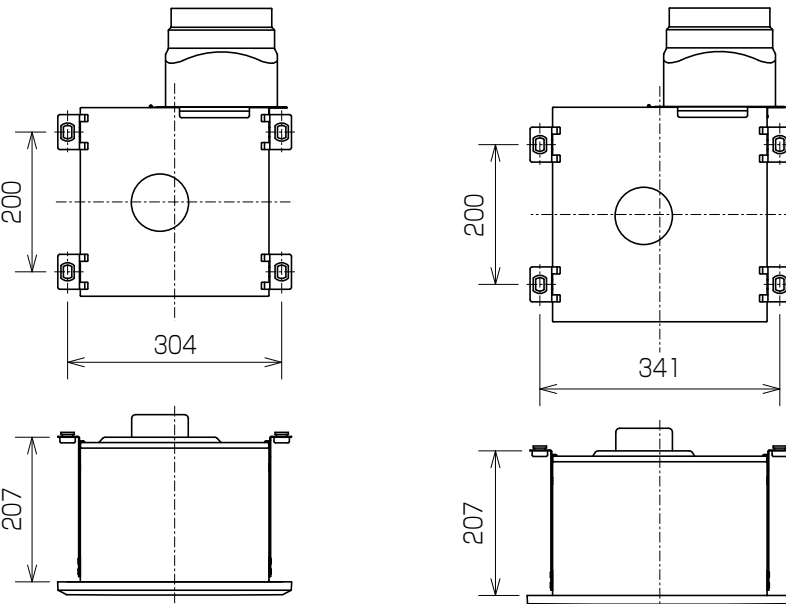


お願い
● スプリング固定ピースを抜くとき紛失しないよう気を付けてください。
● スプリングやスプリング固定ピースを取り付けるとき、向きに注意してください。逆に取り付けると本体カバーの落下のおそれがあります。

B. 吊下金具を使用するとき

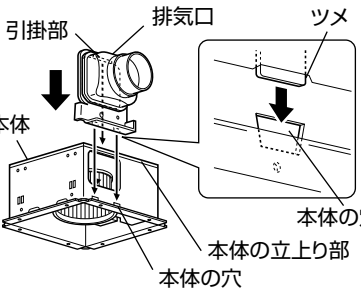
下図の寸法にアンカーボルトを埋込みます。

B-1 ●DVF-D18L ●DVF-D20L



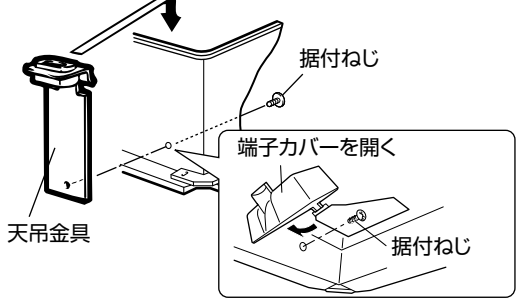
B-2 排気口を本体に取り付けます。

本体の穴と排気口の内側のツメおよび、本体の立上り部と排気口の引掛部がはまり込むように本体と排気口を接続する。



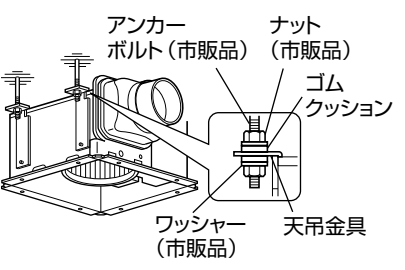
B-3 吊下金具 DV-4T（別売部品）を本体に取り付けます。

天吊金具を本体に引掛けて、端子カバーを開いた内側より据付ねじで固定する。

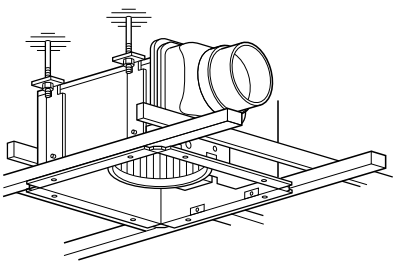


B-4 本体をアンカーボルトに取り付けます。

お願い
本体が水平になるように取り付けてください。

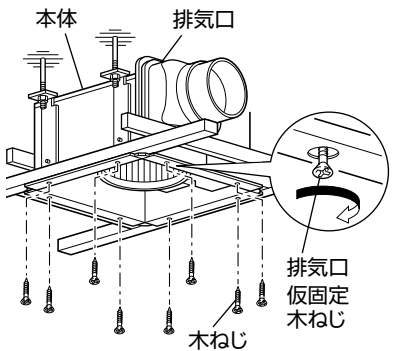


B-5 本体に合わせて木枠を組み付けます。



B-6 本体および排気口を木枠に固定します。

木ねじ（9 本）で本体、排気口を木枠に固定します。



B-7 以後の取り付けは A-4・5・6・7 を参照してください。

以上で取付完了です。

試運転

次の点検を行い異常がないか確認してください。

- 運転したとき異常音、異常振動がありませんか
- 製品の取付強度が十分ですか
- ※ 「強」または「弱」運転中は常に自動的に風量調整運転を行います。風量調整運転中は運転音に変化する場合がありますが、異常ではありません。
- 本体カバーが確実に取り付けられていますか

東芝キャリア株式会社